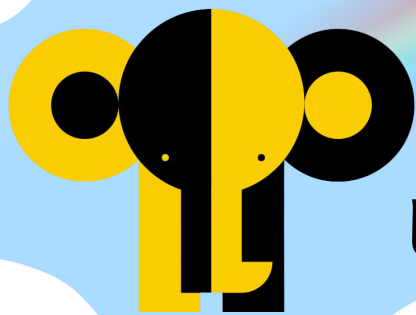


2026年度

幼児（年中から）・小学生

Up **こどもカレッジ**
edu-pj



英語4技能が しっかり身につく！

小学生から
TOEIC®600点、
英検®2級
を目指す！

子ども英語教室 **Lepton**
レプトン



Leptonの特長 ... 継続することで着実に力がつきます。続けられる仕組みもたくさん！

1 個別・自立学習だから 自分のペースで 好きなだけ頑張れる



レッスンは無学年制＆個別学習で行うので、自分のペースでどんどん進められます。また、お子さまの英語力に合わせて、入門～上級の4つのレベルのどこからでも始められるのが特長。小学生のお子さまでも楽しく意欲的に続けられるので、個別に力を伸ばせます。

2 独自の学習法で 4技能がバランス よく習得できる！



ネイティブの英語音声聞いて発音→発音した単語や文をくり返し書いて覚える→覚えた単語を使って英文を読む→読んだら理解しているかどうか英語で質問に答える。こうした独自の学習法で「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能がバランスよく習得できます。

3 チューター（先生）が 一人ひとりを しっかりサポート！



自立学習で進めるテキストは、10分程度の短い時間単位で学習内容が変化するようにつくられており、一つの単位を終えるたびにチューターが理解度をチェック。一人ひとりの進捗を正しく把握し、お子さまにとって一番理想的なペースで進められるよう導きます。

4 “反復練習”で 「聞く力」「話す力」 が身につく！



キーフレーズを使ったネイティブの英語音声をもねて声に出す練習を、ぱっと反射的に口から出るようになるまで何度もくり返し、チューターに確認してもらう。このような“反復練習”で「聞く」「話す」力を鍛えます。

5 先に進むことで定着 する“スパイラル・ カリキュラム”



子ども特有の「すぐに忘れてしまう」傾向に対処するため、Leptonのテキストは、以前に学習したことを思い出しながら、新しいことが同時に学べる“スパイラル・カリキュラム”にのった設計になっています。先に進めていくことで定着度が増していきます。

6 世界標準の 英語能力テストで 習熟度を定期診断！



日々の学習の成果を図る“ものさし”として、Leptonでは、テキストが1冊終わるごとに理解度をチェックする「ファイナルチェック」や、TOEIC®につながるコミュニケーション英語能力テスト「JET (Junior English Test)」で英語力の習熟度を確認しています。



Leptonのレッスン … お子さまにとって、一番理想的なペースで効率的に学習が進められます

Hello!

Hi!



教室に入った瞬間から、そこは英語の世界。チューター（先生）たちが笑顔で迎えます。



レッスンの始まりに、チューターが「今日は何曜日？」など、英語で質問。徐々に英語に慣らしていきます。



オリジナルテキストと英語音声で、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の自立学習に取り組みます。



一つの単位を終えるたびにチューターのチェックを受けます。



Excellent!

テキストが1冊終わるごとに、小テストで理解度をチェックします。合格したら次のテキストへ！



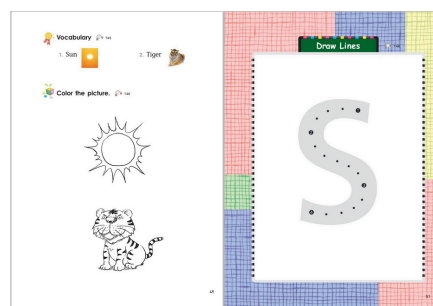
Leptonのテキスト … 独自開発したテキストで、いつでも、どのレベルからでも始められます

入門 フォニックスで読み書きを学ぶ

テキストシリーズ



2020年度からの学習指導要領では、文字の読み書きが小学5年生から始まります。一方、Leptonでは、幼稚園児や小学校低学年を含む、英語が初めてのお子さま向けに、アルファベットと簡単な単語の読み書きの練習からスタートします。特に「こういうつづりのときは、こう読む／発音する」という文字と音の対応関係をルール化・パターン化した“フォニックス”の習得が、入門のメインの学習です。

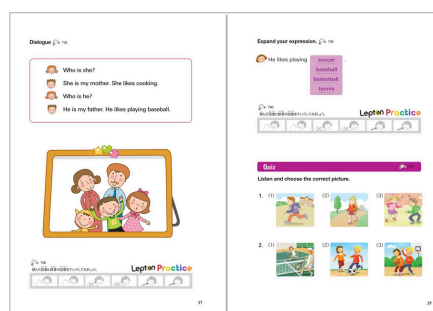


初級 反復練習で聞く・話す力を鍛える

テキストシリーズ



英語を文法という理屈で学ぶ中学生とは違い、小学生（特に低学年）は、耳・口・手を使って、英語を体で覚えていきます。ぱっと反射的に口から出るようになるまで、英語音声をまねて声に出す練習を何度もくり返し、先生に確認してもらう。その後、練習した文を書き写す。中学レベルの英語を使った会話フレーズをスラスラとテンポよく言える力は、こうした「聞く→話す→読む→書く」の4技能の反復練習によって身につけていきます。

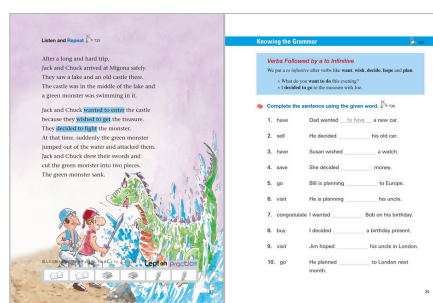


中級 中学校レベルの会話や読み物に挑戦

テキストシリーズ



「買い物」「電話」「1日の行動」「体調・症状」「道案内」。中学校の教科書などでも定番の会話場面・フレーズを学びながら、くり返し英語を聞いて、まねて声に出し、書き取る“4技能の基本の型”を反復練習します。テキストが進むにつれ、会話はだんだんと長くなり、話の内容も充実していきます。過去・未来の文、助動詞、to不定詞などの中学校で必修の文法や、want to～、have to～などの熟語も多数登場し、表現の幅をさらに広げていきます。



上級 高校レベルの文法も先取り

テキストシリーズ



上級では、時制、助動詞、比較、動名詞、受動態、文詞、関係代名詞といった中学レベルの文法を軸に、会話や文章の中でよく使われる主要な文法を学習します。関係副詞、仮定法、分詞構文など、高校で習う文法も一部含まれます。単なる規則の暗記ではなく、その文法を含む文を聞いて書き取ったり音読したりして、「話す・書く」など、実際のコミュニケーションでの文法の“具体的な使い方”を、4技能の反復練習で体得していきます。

